

3・4 学年国語科学習指導案

日時 平成16年 月 日
 場所 年教室
 児童数 年男子 名 年女子 名
 授業者 内山卓也

1, 単元名 3年 動物と人間との関わりを調べよう
 4年 わたしたちの体について調べよう

2, 教材名 3年 「動物とくらす」「パンフレットを作ろう」
 4年 「体を守る仕組み」「これがわたしです」

3, 指導の立場

- (1) 単元について
- (2)
- (3) 研究主題に関わって

4, 単元の目標

3年 動物と人間との関わりを調べよう

- ・動物と人間の関わりについて興味をもって読むことができる。(関心意欲態度)
- ・分かったことや感じたことを発表することができる(話す力)
 例示を使った説明方法や文章構成を理解し、内容を正しく読むことができる。
 (読む力)
- ・動物と人間との関わりについて、学習したことや調べたことをまとめることができる。(書く力)
- ・分かりやすく表現するための「例示」の働きや指示語を理解することができる。
 (言語の力)

4年 わたしたちの体について調べよう

- ・体を守る仕組みについて興味をもって読むことができる。(関心意欲態度)
- ・体を守る仕組みのすばらしさについて、自分の考えを話すことができる。(話す力)
 段落相互の関係を考えながら、文章を正しく読むことができる。(読む力)
- ・体を守る仕組みについて、学習したことや調べたことをまとめることができる。
 (書く力)
- ・段落相互の関係を示す接続語や指示語の役割や意味について理解することができる。(言語の力)

5, 単元の評価規準

3年

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての知識理解・技能
・動物と人間の関わりについて興味をもち、ワークシートを通して、くわしく読み取るうとし	・動物と人間の関わりについて分かったことや感じたことをわかりやすく発表することができる	・動物と人間との関わりについて、学習したことや調べたことをパンフレットにまとめること	・分かりやすく表現するために例えや「こそあど言葉」などが工夫されているところに注意し	・「たとえば」の働きや指示語の指す言葉を理解することができる。(オ(ウ))

ている。	る。(ア)	ができる。 (ア)	て読むことが できる。(イオ)
------	-------	--------------	--------------------

4年

ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 書く能力	エ 読む能力	オ 言語についての知識理解・技能
・体を守る仕組みについて興味をもち、ワークシートを通して、くわしく読み取ろうとしている。	・体を守る仕組みのすばらしさについて自分の考えをわかりやすく話すことができる。(ア)	・体を守る仕組みについて、学習したことや調べたことをわかりやすく書き直すことができる。(ア)	・段落相互の関係を押さえ、中心となる語や文をとらえて文章の内容を正しく読むことができる。(イ)(オ)	・指示語や接続語の役割や意味を理解することができる。 (オ(ウ))

6 , 単元指導計画 3年(全14時間)

時	ねらい	学習活動	評価規準
1	提示された動物の写真や「驚いたこと」「初めて知ったこと」の交流を通して、本文への関心を高める	・提示された動物の写真や題名から動物とふれ合った経験を話す。 ・本文を読み、初めて知ったことや驚いたことを話し合う	・飼っているペットや動物とふれ合った経験を進んで話す。 (関心・意欲)
2	二つの事例に着目して、動物には人間を元気にする力があることを読み取ることができる。	・全文を読み、動物たちが人間を元気にする力をワークシートにまとめる。 ・交流しながら、元気にする力を確かめる。	・事例が二つあげられていることに気づき、動物が人間に与える二つの力を読み取る。 (読む)
3	「こそあど言葉」の働きと共に「動物とくらす」の内容の理解を深めることができる。	・本文から「こそあど言葉」を見つける。 ・見つけた「こそあど言葉」が指している中身を確認する	・「こそあど言葉」を見つけることができる。 ・「こそあど言葉」の指す内容を読み取ることができる。 (読む)
4	「たとえば」の働きや二つの事例の内容を読み取ることができる。	・本文中の「たとえば」を確認し、その前後の事例と意見を確認する。 ・二つの事例を読み取り、知っていることや感じていることをワークシートに書く。	・「たとえば」の働きを知り、「動物とくらす」に書かれた事例と伝えたいことを読み取る。(言語)
5	「おわり」に筆者の考えが書かれていることを手がかりにして、動物と人間とのよりよい関係を願う筆者の主張を読み取ることができる。	・文章構成表を見ながら、「なか」を二つの意味段落に区切る。 ・交流しながら、筆者の主張点を読み取る。	・三段構成の「おわり」に着目して、筆者の考えを読み取ることができる。(読む)
6 7	テーマにする動物を選んだり、情報集めの計画を立てたり	・自分の好きな動物を選び、情報を集める計画を立てる。	・調べる方法を考えて、見通しのある活動計画を立てる。 (関心)

	することができる。		
8 9	調べ学習を通して目的に必要な事柄を収集したり選択したりしてメモすることができる。	・大事な言葉を抜き出し、メモの取り方に気をつけて動物調べをする。 ・図書館で資料を探し、必要な部分をノートやワークシートに書く。	・課題について図書館の本などで調べて材料を集め、必要な部分を選んで書く。 (書く)
10 ~ 12	カードの順序に気をつけ、動物新聞を書くことができる。	・メモをもとにして動物新聞を書く。	・読み手のわかりやすさを考えて文章にまとめることができる。(書く)
13	新聞をもとにして発表することができる	・新聞をもとにして、調べたことを発表する。	・調べたことを表現する楽しさを味わう。(興味・関心)
14	指示語が持つ働きを理解する。	・こそあどクイズを出し合う	・こそあどクイズを出して楽しむ。(興味関心)

4年(全13時間)

時	ねらい	学習活動	評価規準
1	・提示された写真や「驚いたこと」「初めて知ったこと」の交流を通して、本文への関心を高める	・提示された微生物の写真や病原菌の写真を見て、感想を発表する。 ・本文を読み、学習の計画を立てる。	・写真から、自分が発病した経験を進んで話す。(関心)
2	・大まかな三段構成のしくみをとらえることができる。	・ワークシートをもとにして、本文を三つの部分に区切る。	・三つのまとまりの内容を参考にして、「はじめ・なか・おわり」を区切る。(読む)
3	・本文を読み、「分からないこと」「もっとしりたいこと」を書くことができる。	・「わからないこと」「しりたいこと」をワークシートに書く。	・本文から、疑問点やもっと知りたいことから問題を作る。(読む)
4	・「体を守る仕組みクイズ」を行うことで、内容を確かめることができる。	・「体を守る仕組みクイズ」をつくる。	・「体を守る仕組みクイズ」を作ることができる。(読む)
5	・「体を守る仕組み」に使われている接続語を見つけ、前後のつながり方を考えることができる。	・音読しながら、接続語を見つける。 ・接続語がどんなつながりをしているか考える。	・接続語を見つけることができる。(読む) ・見つけた接続語のつながり方をワークシートに書くことができる。(言語)
6 7	・もっとしりたいことから自分の調べ学習の課題を決め、図書館で必要な資料をさがすことができる。	・もっと知りたいことを調べる。 ・図書館で資料をさがす。	・自分の調べたい課題を決めることができる。(意欲) ・資料から材料を集めて、必要な部分を選んで書くことができる。(書く)
8	・自分が好きな表現方法を選択することができる。	・自分が調べた内容と合わせながら、好きな表現方法を選択する。	・伝える相手や内容に合わせて、好きな表現方法を選ぶことができる。(読む)

9 10	・接続語を適切に使うことができる。	・調べた資料を分かりやすい言葉に直して、文章を書く。	・読み手のことを考えて、分かりやすい言葉や接続語を使って、文章を書くことができる。(書く)
11 12	・作品を紹介をすることができる。	・作品を発表する。	・分かりやすく調べたことを話すことができる。(話す)
13	・適切に接続語を使うことができる。	・問題を通して、正しい接続語を選ぶ。	・正しい接続語を使うことができる。(言語)